

毎日、安全で美味しい水をお届けします！

すいげん

NO.32

厚岸町水道広報

2023

早春

特集1

令和3年度水道事業
決算と事業報告

特集2

ホマカイ橋橋梁添架管
防護工事について



ホマカイ橋の添架管防護状況

平成29年度の料金改定以降

黒字を保ってきたが、

令和3年度は482万円の赤字決算

令和3年度は、前年度に比べ使用水量が減少しました。主な要因は、家事用では人口減少の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛が少しずつ解除され、令和2年度のような巣ごもりによる水需要の増加がなく水道使用が減少。また、業務用において、産業関連が不調で、昨年度に引き続き使用水量は減少となりました。さらに、施設管理に係る委託料の人件費の増加に加え、設備の故障や水道管の漏水により突発的な大きな修繕が増加したことも重なり、収入よりも支出が増加した結果、482万円の赤字決算となりました。

決算の概要

●業務の状況

3年度の給水人口は7,949人となり、前年度に比べ218人(2.7%)減、給水戸数は5,167戸で16戸(0.3%)減、配水量は126万9,974立方メートルで3万5,593立方メートル(2.7%)減、有収水量は83万8,183立方メートルで3万6,547立方メートル(4.2%)減、有収率は66.0%で1.0%減となりました。(表1)

●収益的収支の状況

収益(収入)は、2億6,534万5千円となり、前年度に比べ796万5千円(2.9%)減。使用水量は、前年度に比べ家事用で3.0%減、業務用で6.6%減、農業用で1.6%減など、全体では4.2%の減となりました。(表2)

費用(支出)は、2億7,016万7千円となり、前年度に比べ603万9千円(2.3%)増。主な内訳として、人件費が2,060万4千円で2.7%増、委託料が4,748万3千円で4.2%増、修繕費が1,803万8千円で1.8%減、動力費が1,605万1千円で4.9%減、薬品費が1,456万3千円で6.6%減、減価償却費が1億1,465万4千円で3.2%減、支払利息が1,798万6千円で7.5%減となりました。

この結果、482万2千円の純損失(赤字)となりましたが(表3)、前年度繰越利益剰余金をもって補填しました。

●資本的収支の状況

収入は、6,322万7千円となり、前年度に比べ1,128万4千円(21.7%)増。主な収入の企業債が5,710万円で12.4%増となりました。

支出は、2億1,672万8千円となり、前年度に比べ3,461万9千円(19.0%)増。内訳として、建設改良費が1億3,258万7千円で31.1%増、企業債償還金が8,414万1千円で3.9%増となりました。

収支の不足額1億5,350万1千円は、当年度分の損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、積立金の一部である建設改良積立金及び減債積立金で補填しました。

表1 業務量

項目	単位	2年度	3年度
給水人口	人	8,167	7,949
給水戸数	戸	5,183	5,167
配水量	m ³	1,305,567	1,269,974
有収水量	m ³	874,730	838,183
有収率	%	67.0	66.0
一日平均配水量	m ³	3,576	3,479
一日最大配水量	m ³	4,625	4,070

表2 主な用途別の使用水量

(単位: m³, %)

項目	2年度	3年度	増減率	増減
家事用	542,732	526,490	△ 3.0	△ 16,242
業務用	289,140	269,948	△ 6.6	△ 19,192
農業用	39,962	39,314	△ 1.6	△ 648
合計	874,730	838,183	△ 4.2	△ 36,547

※合計には浴場営業用と臨時用を含む

すいげん NO.32

2023年早春号（通巻68号）
令和5年3月1日発行

■発行／厚岸町

■編集／水道課

〒088-1192

厚岸町真栄3丁目1番地

TEL 0153-52-3131

FAX 0153-52-4284

E-mail／

suidou@akkeshi-town.jp



冬のホマカイ川取水口の状況

厚岸町の上水道区域はホマカイ川を水源としており、冬の間は、川の凍結により取水ができなくなることがあります。そのため施設管理として氷を割る作業を行うことで、スムーズな取水を可能としています。



【施工前】



【施工後】



上記写真のホマカイ橋に付けられている水道管は、人口の9割が利用している水を運ぶための重要な水道管です。この水道管は平成26年にホマカイ橋の架け替え工事に伴い更新しました。

これまで春先の雪解けや降雨の影響により河川が増水し、漂流物などの接触による破損などの危険性から橋に付けた管を守るため、令和4年12月に上記写真のとおり防護板の設置工事を行いました。これにより、安全性の確保が向上すると期待しております。